

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
三笠産業株式会社	代表取締役社長	林田 壽昭	奈良県	製造業	http://www.mikasa-ind.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年9月30日
-------	------------

（取組方針）

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

（法令遵守への配慮）

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

（契約内容の明確化・遵守）

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。
2	A ③	パレット等の活用	・レンタルパレット等を有効に使い、トラック運転手のバラ積バラ降しを低減し、荷役時間を削減します。
3	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	・発荷主として貨物を発送する際、物流事業者の車両手配、出荷準備等がスムーズに行える様に、入出荷情報等を早目に提供します。
4	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	・当日生産、当日出荷の削減及び、荷揃え作業の効率化を行い、荷待ち時間を短縮します。
5	A ⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	・長距離運送について、トラック輸送からフェリーや鉄道の利用への転換を行います。
6	F ①	幹線輸送の見直し及び混載、共配便の利用推進	・関東、関西、九州間の貨物を定期便にて纏めて各地域のデポに移動させ、着荷主から近いデポより混載便、共配便にて効率配送を行います。

PR欄	<ul style="list-style-type: none"> ・1912年創業。液体をパッケージする技術で、世界の食卓を豊かにするため、日々努力しています。 ・現状否定、創意工夫を合言葉に、国内4拠点、海外1拠点で約1,300アイテムのオリジナルcap、パッケージの生産を行っています。 ・全国47都道府県のお客様に対し、小口配送から大口配送を効率的に行える様、配送方法の見直しに取り組んでいます。 ・環境配慮製品の開発、拡販、廃棄物削減を、全社で取り組んでいます。
-----	---